

きりゅう

平成12年8月1日

市議会だより

No.174



夏の日差しを浴びて、子供たちは元気いっぱいプール遊びを楽しんでいました。(沼の上保育園)

平成12年第2回定例会は、6月5日に招集され、19日までの15日間の会期で開かれました。この定例会では、市長提出議案5件及び議員提出議案3件の審議を行い、市長提出議案はそれぞれ原案のとおり可決し、議員提出議案は否決となりました。

再生紙を使用しています

主な掲載記事

- 一般質問を13議員が行う 2 ~ 6
- 請願の審査結果 7
- 決議・意見書の審議結果 7
- 桐生川の清流を守る条例を可決 8
- 一般会計補正予算を可決 8

6月16日(金)、19日(月)の2日間にわたり、13人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

一般質問

質問者

岡部 信一郎 (市政クラブ)	寺口 正宣 (公明党)
森下 清秀 (政友会)	小滝 芳江 (フォーラム桐生)
大澤 幸一 (フォーラム桐生)	中田 米蔵 (日本共産党)
佐藤 貞雄 (日本共産党)	石井 秀子 (桐愛会)
高橋 定二郎 (政友会)	幾井 俊雄 (市政クラブ)
岡部 純朗 (市政クラブ)	関口 直久 (日本共産党)
田島 信夫 (政友会)	

学校の環境教育

質問

環境教育の先進国であるドイツでは、「環境保護のためには、環境を意識した行動を一般的な教育目標として学習計画に入れるべきである」として、環境教育の必要性を打ち出し実践している。学校での環境教育は大切だと思うが、桐生市の学校ではどのように取り組んでいるのか、具体例を聞きたい。

培し、四年生はごみ調査隊として家庭ごみの調査を行い、五年生はごみのリサイクルを学習している。また、中学一年生では、尾瀬ふれあい感動体験事業において、環境保全等を学習している。

地域情報化の推進

質問

産学官の情報拠点整備の中で出された地域情報化の促進を求める提言書を踏まえ、桐生市の地域情報化をどのように進める考えなのか。

答弁

インターネット等の高速通信ネットワークを活用した行政窓口サービスの実現や、豊かなコミュニケーション社会の実現に向けた地域情報ネットワークの構築は重要な課題であり、提言の内容を踏まえ、調査・研究を行い、早期の事業化を目指したい。

答弁

一例をあげると、ある小学校では、三年生は農園で野菜を栽



仲良くみんなて野菜の栽培(神明小学校)

ホームページ の観光情報

質問

桐生市にとって観光事業は重要な

施策のひとつであり、市のホームページは、観光情報をもっと幅広く、統一的に提供すべきである。また、観光協会とも連携して、観光ホームページを作成すべきではないか。鳴神山、根本山のハイキングコースは、市外からも多くの登山者が訪れているが、コース案内が不十分でよくわからない。案内板の設置等のコース整備については、どう対応しているのか。

答弁

桐生市のホームページの

観光項目については充実努めたい。また、観光協会は現在ホームページを作成中であり、開設後は市のホームページとリンクさせたい。ハイキングコースの案内板等の整備は、広範囲にわたることから期間もかかるため、



地場産センターのアドバイスコーナー

順次進めている状況である。

企業と大学の 連携

質問

産学官の連携として、行政が窓口となり、企業の研究課題と大学での研究との仲立ちを行うシステムをつくれぬか。

答弁

企業と大学の仲立ち等を行う窓口として、地場産業振興センターに、群大工学部を退官した教授によりアドバイザーが開設されている。

シックハウス 症候群

質問

最近、「シックハウス症候群」が社会問題化している。建材等を使用される接着剤等に含まれる化学物質等が室内を汚染し、頭痛等の症状を引き起こすといわれるが、公営住宅や公共施設における対策と、幼稚園、小中学校等での子供たちの実態について聞きたい。

答弁

公営住宅、公共施設を建設する場合、材料の化学物質放散量や自然換気に配慮している。学校では、頭痛等の症状で子供が保健室を利用することとはあるが、その症状とシックハウス症候群との関連性等が明確ではないため、厚生省等の対策の推移を見守りたい。

学校図書館の 利用状況



みんな本が大好き(南小学校)

質問

現在、日本では子供の活字離れが懸念されており、国会では、平成十二年を「子ども読書年」として決議したが、桐生市ではどうなのか。学校図書館の利用状況を聞きたい。

答弁

学校の図書館では、貸し出し業務だけでなく、読み聞かせや子供たちの興味や関心を伸ばす活用方法が図られており、利用者は増加傾向にある。読書意欲を高め、知的活動を増進し、豊かな人間形成や情操を育むことができるよう、今後も充実に努めたい。

競艇事業

質問

競艇事業について、桐生市の競艇事業収益を増やすためにどのような点を改善し、どのように交渉を進めようとしているのか、総括的に聞きたい。



桐生競艇場

答弁

競艇事業に関する施設借上げ料、開催諸経費、そして法定交付金という三つの問題について精査しており、しっかりと取り組んでいきたい。現在、競艇等の公営競技を施行している全国の自治体の多くは赤字になりつつあり、今後

は、そうした自治体が結束して問題に対応していきたいと考えている。

教育勸語

質問

先日、森首相の教育勸語の復活に関する発言があったが、復活は絶対に許されるものではない。教育勸語については、昭和二十三年六月の国会において、衆議院では「教育勸語等廃止に関する決議」、参議院では「教育勸語等の失効確認に関する決議」がなされているわけであるが、教育委員会としては、そのような事実を承知しているのか。

答弁

教育勸語については、ご指摘の昭和二十三年六月の衆議院及び参議院における失効決議により、その効力を失うことが確認されたと認識している。

制度融資の 損失補てん

質問 制度融資について、企業の倒産等で回収不能となった債権が金融機関から信用保証協会に移った代位弁済対象額の一部を、桐生市も損失補てん金として負担しなければならぬが、昨年度の代位弁済の金額と件数、そして桐生市の損失補てん金はどのくらいなのか。

回答 平成十一年度の代位弁済は、件数は七十六件、金額は一億八千五百九十七万四千円であった。代位弁済にかかる損失補てん金は、三千六百七十四万四千円となっている。

中通り大橋線 と桐生大橋線

質問 中通り大橋線は重要な道路であるが、国道一三二号から五〇号までの事業認可の見通しはどうか。また、桐生大橋線の笠懸町部分は、どのような状況になっているか。

回答 現在のところ、国道一三二号から五〇号までの事業認可は難しい状況だが、中通り大橋線全線の早期完成のため、今後、国・県に強く要望していきたい。桐生大橋線については、北関東自動車道の(仮称)藪インターへのアクセス道路と位置付けており、笠懸町と協力し、早期整備促進に向けて努力していきたい。



桐生大橋線の整備に伴う東武線の架道橋工事

学校給食

質問 最近、学校の給食で子供たちの食べ残しが多いと聞かすが、一日の残飯の量はどの程度なのか。また、月曜日の給食のパンがまずいという話を聞くが、月曜日のパンは土曜日に作っているのか。

回答 残飯量は、平成十年度が一日平均五百七十キロで、残食率七・六パーセント、十一年度が四百六十キロで六・四パーセントということに減少傾向にあり、引き続きおいしい給食に努力したい。また、月曜日のパンについては、製造委託業者に日曜日に製造するよう指導している。



第一桐生街道踏切

殿林踏切の 整備

質問 境野町のJR両毛線の殿林踏切は、幅が狭く斜めに交差する

ため、自動車のすれ違いも大変な状況であり、歩行者等が危険にさらされている。踏切と前後の道路を含めた拡幅整備ができないか。

回答 正式には、「第一桐生街道踏切」という名称で、歩道のない幅員五・四メートルの道路で見通しも悪く、円滑な交通の確保には拡幅が必要と考えるが、踏切の前後は家屋が密集しており難しい状況である。今後、利害関係者のご理解とご協力をいただければ、改善に向けて検討したい。

ごみの分別 収集

質問 本年四月から、ペットボトル、トレイ、蛍光管等の分別収集を実施しているが、排出されるごみの分別状況はどうか。雑誌等は価格の暴落に伴うリサイクルの停滞のため焼却処分等になっているが、リサイクル再開の目安はあるか。また、ごみの発生・排出を抑制するために、収集

見られるが、概ね良好な状況となっている。雑誌等のリサイクルは、古紙等の価格低迷は依然として厳しいが、回復の兆しもあり、近い将来には再開も可能になるかと思われる。ごみの有料化は、減量に直接効果をもたらさないという意見もあり、市民アンケートでも、市民のコンセンサスが得られておらず、気運の盛り上がりが必要と考える。



リサイクルされるペットボトル(広域清掃センター)

法定外公共物

質問 地方分権一括法の施行に伴い、法定外公共物が市町村に譲与されるわけだが、どのような土地が対象になるのか。

回答 具体的には様々な事例があるが、将来を考慮し、公共用地として重要性の高い土地は譲与の対象に考えている。

回答 手数料制を導入することについてはどう考えるか。

質問 ごみの分別状況は、一部に混入も

国民年金の

未納者

質問 国民年金は、世代間の助け合いにより公平に年金を支給する重要な社会保障制度であるが、桐生市における国民年金未納者の現状はどうか。

答弁 平成十一年度末における国民年金保険料の納付該当となる第一号被保険者は二万二千五百六十二人であるが、そのうち六千六百六十三人が未納となっている。

介護保険制度

質問 本年四月から介護保険制度がスタートしているが、特別養護老人ホーム等の施設入所者で、非該当自立」と判定された人は何人いるのか。また、その対策はどうなっているか。桐生市では、介護ヘルパーの必要人数に対して実

際の人数はどのような状況なのか。

答弁 施設入所者で非該当と判定された人は、三月三十一日現在、特別養護老人ホーム五人、老人保健施設四人で、特別養護老人ホームでは五年間の特例措置が認められている。介護保険料算定時のヘルパーの実人員九十三人は、現状で必要



特別養護老人ホームでの憩いのひととき

サービス量をほぼ充足する数であり、民間事業所の参入も見込まれるため、今後の需要増を見込んで、も充足していると考えている。

事業の外部

委託

質問 事業の外部委託は経費節減の効果を考えて進めるべきであるが、最近、桐生市が外部委託した事業及びその効果はどうだったのか。また、今後の方向性はどうか。

答弁 清掃管理事務所のごみ収集業務や梅田保育園の民間委譲等が最近外部委託した事業であり、約四千七百万円の削減が図られたと考える。今後については、費用対効果を十分勘案し、市民の意見を踏まえて、外部委託が可能なのは実施していきたい。

保育園の

保育士数

質問 厚生省の保育士定数は、四・五歳児では保育士一人に対して子供三十人が定数である

が、小学校のさくらプランは、三十四人以上の一年生クラスに二人目の先生を配置している。保育園の小さい子供たちには、もっと多くの保育士の援助が必要である。保育士を増員すべきと思うがどうか。

答弁 公立保育園では、四月一日現在、園長を除き六十六人の保育士があり、保育士定数の基準は満たしているが、群馬県保育協議会が県に要望している保育園版さくらプラン等について、今後研究していきたい。



紙芝居を楽しむ子供たち

教育の見直し

質問 現在の子供たちは、いじめ、不登校、少年犯罪の凶悪化とさまざまな問題がある。このような状況を抜けるためには、今日の受験中心の教育をやめて、子供の成長と発達を中心にした、人間づくりの教育を行うべきではないか。

答弁 平成十四年度から実施される新しい学習指導要領では、子供の成長と発達を中心においた教育が一層推進されることになる。現在各学校ではその取り組みの工夫をはかっており、この推進にあたっては、子供たちが過度のストレスにさらされないよう、子供の側に立った年間指導計画の作成や指導方法を検討していきたい。



JR桐生駅南口に設置された白ポスト

質問 現代社会には多くの有害情報が氾濫しており、私たちはそのような有害情報から子供たちを守らなければならない。桐生市の取り組みはどうか。

答弁 青少年問題協議会や青少年愛育運動協議会において、有害図書等の排除や不良環境の浄化について協議し、その推進を図っている。青少年センターでは、白ポストの有害図書回収や不法掲示有害看板等の撤去等を行っている。

有害情報の

排除

就労男性の健康づくり

質問

健康づくりについて、特に就労年齢男性のための施策を聞きたい。健康には予防医学が大事といわれるが、実際には仕事があると働くことが優先され、健康づくりは後回しになってしまう。就労者の定期検診では、生活習慣病の起因となる肝機能等の調査項目が高い数値を示している状況もあり、積極的に施策を推進してもらいたい。

答弁

特に男性のための施策という限定したものではありませんが、わたらせ健診や各種がん検診を実施するほか、生活習慣病に重点をおいた事業として、「コレ捨て教室」「糖NO教室」を開催しており、さらに本年度からは、「新四十歳健康づくり講習会」を新たに開催する。

空き店舗の活用

質問

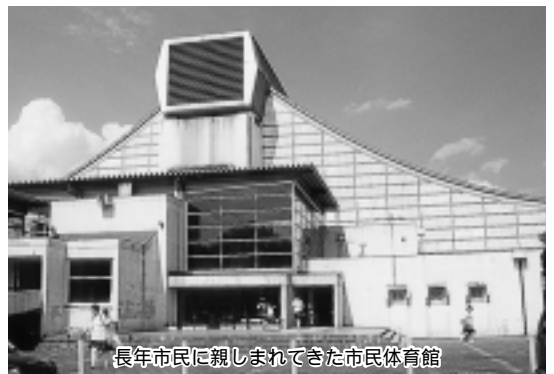
オープン・ザ・シャッター事業として、空き店舗等の閉じられたシャッターを開けてもらい、自分の作品を展示及び販売したい人たちのディスプレイの場として利用することはできないか。

答弁

桐生市では、本年度から商店街づくり総合支援事業として、商店街等の空き店舗活用を支援しており、提案の事業は貴重な意見とした。



空き店舗を活用した本町通りのお店



長年市民に親しまれてきた市民体育館

市有施設の現状

質問

相生運動公園は、設けかなり老朽化しており、そろそろ総合的な見直しが必要ではないか。また、小中学校では、昔に比べて児童生徒数が大幅に減少しているが、空き教室をどのように利用しているのか。

答弁

相生運動公園は、設けかなり老朽化しており、そろそろ総合的な見直しが必要ではないか。また、小中学校では、昔に比べて児童生徒数が大幅に減少しているが、空き教室をどのように利用しているのか。

東長寿センター

質問

東長寿センターの開館から半年あまりが経過するが、現在までの利用状況はどうか。また、他の三つの長寿センターの利用状況はどうか。

東長寿センターの開館から半年あまりが経過するが、現在までの利用状況はどうか。また、他の三つの長寿センターの利用状況はどうか。

答弁

東長寿センターは、本年五月三十一日までの半年間に、一万五千八十九人、一日平均百二十九人の利用者があった。また、平成十一年度の長寿センターの利用者数は、美原長寿センターが四万二千四百四十四人、川内長寿センターが一万九千二十人、境野長寿センターが二万五千九十五人であった。

わたらせ健康診査

質問

現在、胸部レントゲン撮影は集団検診で実施されているが、わたらせ健診の内容を充実させるために、同健診と同時に胸部レントゲン撮影を受診できないか。また、わたらせ健診では受診月を指定して、市民に通知しているが、実施期間中はいつでも受診できる形で市民に通知すべきではないか。

答弁

わたらせ健診は、老人保健法により四十歳以上を対象に医療機関の個別健診で実施しており、結核検診は、結核予防法により十九歳以上を対象に集団検診で実施しているため、別々の実施でやむを得ないと考えている。わたらせ健診は受診月を指定していても期間内の変更は可能であり、どうしても最終の九月に集中してしまうため、市

民が受診しやすいように通知等を研究したい。

低地の雨水対策

質問

相生町二丁目の愛宕神社周辺とひまわり住宅周辺は、低地で雨水の排水が悪く、住民はたいへん困っている。当局は対策をどう考えているか。



相生町二丁目の愛宕神社付近

答弁

相生町二丁目の周辺区域については、周辺の雨水流入状況を検討し、効率的な浸水対策を進めていきたい。

請願の審査結果

この定例会では、14件の請願を審査しました。その結果は、不採択としたものが1件、閉会中の継続審査としたものが13件でした。なお、陳情の審査はありませんでした。

●閉会中の継続審査とした請願

件名	第17号 住民の交通手段確保を求める請願
結果	不採択 (多数が不採択に賛成)
付託委員会	交通対策調査特別委員会

件名	付託委員会
2号 青年の政治参加をひろげる18歳選挙権の早期実現をもとめる意見書の採択に関する請願	総務委員会
7号 消費税のせめて3パーセントへの引き下げを求める請願	
8号 日本国憲法にうたう人権が施策のなかで尊重されることを求める請願	
9号 平和な群馬の空と大地を求める請願	
18号 「激増する農畜産物の緊急輸入制限(セーフガード)の発動を求める」意見書採択を要請する請願	産業経済委員会
1号 すべての学校で30人学級を実現し、公立高校学級削減の再検討を求める請願	教育民生委員会
4号 業者婦人の健康と母性をまもり介護保険の改善を求める請願	
5号 介護保険の改善と福祉サービスの充実を求める請願	
12号 安心して暮らせる年金制度確立のための請願	
13号 介護保険制度に関する請願	
14号 保育施策の充実を求める請願	
15号 安心して子育てができる制度確立のための請願	
16号 教育予算増額・小規模学級実現など教育課題実現を求める請願	

お知らせ

次回定例会の開会予定は

9月6日(水)です。



議会を傍聴される皆さん

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、平成12年第2回定例会の会議録は、9月上旬からご覧になれます。

決議・意見書

この定例会では、議員提出議案である決議案一件、意見書案一件の審議を行い、それぞれが否決(可決の賛成が少数)となりました。

決議案

競艇施設借上げ料引き下げを求める決議案
森首相の「神の国」発言の即時撤回を求める決議案

意見書案

モーターボート競走法を改正し日本船舶振興会交付金の引き下げを求める意見書案

人事

案件

市議会は、人事案件一件について異議ない旨回答することを決定しました。

人権擁護委員

竹内 彰氏
(再任)

主な議案

この定例会で、可決された議案の要旨は次のとおりです。

桐生川の清流に関する議案

流を守ることを目的に制定するもの。

条例施行日

平成十二年七月一日

例
桐生川の清流を守る条例
原案可決（全員賛成）

概要

桐生川は、流域の豊かな自然環境を形成し、市民にふれあいや憩いの場として親しまれており、桐生市民の共有の財産である。この桐生川の清流を次世代に継承するため、市長、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、桐生川の清



休日にはたくさんの人が桐生川を訪れ、豊かな自然を満喫しています。

農業災害対策に関する議案

桐生市農業災害対策特別措置条例の一部を改正する条例

原案可決（全員賛成）

概要

群馬県農業災害対策特別措置条例の一部改正に伴い、適用基準、助成措置の見直し等、所要の改正を行うもの。

市有林用地の取得に関する議案

条例施行日
平成十二年四月一日から適用される。

財産取得市有林用地について

原案可決（全員賛成）

概要

菱町四丁目の土地を、市

有林用地として、土地開発基金により取得しようとするもの。

土地の所在地

桐生市菱町四丁目字金葛

二四六〇番二外七十四筆

土地の面積

五四一、八八三・二三平方メートル

取得価格

二千四万円

取得先

競売申立人株式会社整理回収機構

常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員長及び委員の変更がありました。新しい委員長及び委員は次のとおりです。

産業経済委員会

（委員長）西牧秀乗

教育民生委員会

（委員）飯山順一郎

議会運営委員会

（委員）西牧秀乗

地方分権・合併調査特別委員会
（委員長）笠井秋夫

一般会計予算の補正

平成12年度桐生市一般会計補正予算(第2号)
原案可決（全員賛成）

この補正予算は、歳入歳出予算及び地方債の補正を行うもので、歳入歳出それぞれ2億7,295万4千円を増額補正し、一般会計予算総額は438億1,328万8千円となりました。

歳出の主な補正の内容は、次のとおりです。

商工費 商業振興費

補正額 1億2,908万8千円の増額
【補正後の額 2億6,841万7千円】

商店街づくり総合支援事業補助金の補正
（空き店舗活用の対象店舗の追加）
用地購入費の補正
（中心商店街の駐車場用地購入）

土木費 住宅管理費

補正額 2,580万5千円の増額
【補正後の額 2億5,715万7千円】

各団地各所補修工事費の補正
（間ノ島団地の火災に伴う補修工事）